



「彩速ナビ」の高精細HDパネルは、上下左右170度のワイドな視野角なので、運転席からでも助手席からでも鮮明な映像を楽しめる。HDパネルを搭載するのはフルモデルチェンジした彩速ナビ「TYPE M」の3モデル。初の大画面9V型の「MDV-M906 HDL」(写真の機種)。オープン価格。想定実売価格14万円前後)、7V型の「MDV-M906 HDW」と「MDV-M906 HD」(オープン価格。ともに想定実売価格9万円前後)。

Attention ！ 今月の注目

KENWOOD

史上最強の「彩速ナビ」が誕生

カーナビもハイビジョン！

HDパネルを搭載した新しい「彩速ナビ」が登場。
これからはカーナビもハイビジョンの時代だ。

文=永野正雄(本誌) 写真=阿部昌也

問い合わせ=JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
0120-2727-87

ケンウッドの人気カーナビ「彩速ナビ」のTYPE Mシリーズに高精細HDパネルを初搭載した最新モデルが登場した。WVGAパネルを採用していた従来のカーナビに比べ、約2.4倍もの高解像度(1280×720)を実現した最新モデルは、発色も明るさも増し、我々がこれまで使ってきたどんなカーナビより画質が鮮明でクリアだ。しかも表示されるすべての地図や画像がHDパネルにあわせて作り直されているので、たとえば地図の縮尺を下げて文字が読みやすく、複雑な道路情報もパッと見ただけで頭に入ってくる。また同社の最新ドライブレコーダーとも連携しているので、録画した映像はそのままHDパネルで確認。録画した映像ももちろんハイビジョンで再生できるので、相手のナンバープレートがぼやけていて読めない、なんて心配もいらない。

「彩速ナビ」の進化でもうひとつ特筆すべきが、オーガニックGUIという新インターフェースの採用である。地図上に透過表示されるInfo画面には、目的地までの時間や距離、渋滞情報といった走行に必要な基本情報が見やすくまとめられ、合流案内や一時停止といったドライブメッセージも絶妙なタイミングで表示してくれる。

これだけの高画質、高性能でありながら、「彩速ナビ」ブランドの強みであるレスポンスの速さは今まで通り。一度使ったら後戻りができない、最強のカーナビが誕生した。



使い勝手を極めた
オーガニックGUI

ドライバーに必要な情報が一目で確認できる「彩速ナビ」の新インターフェース「オーガニックGUI」。左上のInfo画面内に様々な情報をリアルタイムで表示する。表示サイズもシーンに応じて自動、または指先でスムーズに変更できるのがいい。



ドライブレコーダーとHDで連携



ハイビジョン対応のドライブレコーダー「DRV-MN940」(オープン価格。想定実売価格4万9800円)を組み合わせることで、前後を同時に録画するダブル録画や、同期した前後の映像を交互に再生するシンクロ再生が可能となる。またリアカメラで捉えた映像で後方を確認できる「バーチャルルームミラー&サブリアカメラ機能」が便利だ。